

歩行者・自転車を守る道路整備！

～安全に生活できる環境づくり～

安心して通行できる歩行者・自転車空間の整備

歩道整備による日常の交通事故のリスク軽減！

無電柱化による災害時の避難路確保！

地域住民を日常・災害時の安全な通行を確保します！

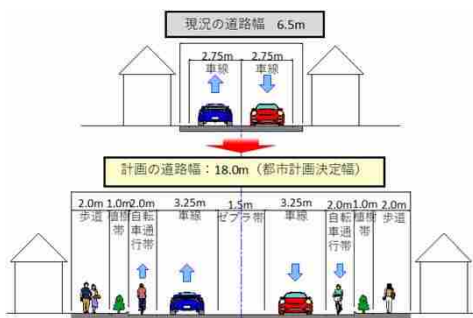


渋川高崎線は緊急輸送道路であり、近隣の学校は災害時に避難所にもなるため、日常・災害時ともに重要な道路です。

【事業箇所付近交通量(H27センサス)】
 歩行者：140人(12時間あたり)
 自転車：158台(12時間あたり)
 【歩行者が関連する事故件数】
 6件(H25～H29)

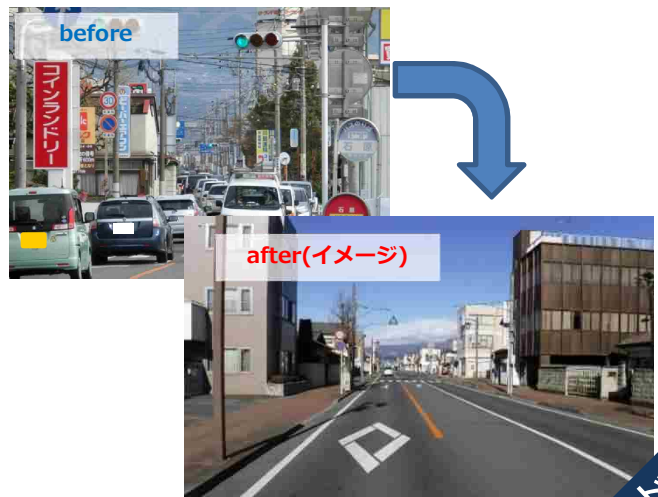
【効果1】日常の安全性や快適性向上

- 歩道整備により、歩道スペースが広く確保でき、高齢者や車いすなどでも**安心して通行できるようになります！**
- 自転車専用通行帯整備により、歩行者、自転車の**安全な通行スペースが確保されます！**
- 通学路の安全性が向上することにより、地域住民の**安全安心な住環境が整備されます！**
- 右折レーンやゼブラ帯を設けることによって、**渋滞が緩和されます！**



【効果2】災害時の安全な通行空間確保

- 無電柱化により、電柱が転倒する危険がなく、**安全な避難路が確保されます！**
- 緊急輸送道路が無電柱化されることにより、電柱倒壊による道路の寸断を防ぎ、**大規模災害時に防災拠点（渋川市役所や渋川消防署）までの緊急輸送が円滑に行われます！**



※幅員・横断構成は異なります

ストック効果